



《最上町生涯学習スローガン》

町民ひとり

1 学習

1 スポーツ

1 地域活

～二十歳の集い実行委員会始

令和7年度 「二十歳の集い」実行委員会が
6月から始動いたしました。

今年度は、83名のみなさんが対象となっております。その中で、11名の有志が実行委員として仕事の合間をぬって活動してくれています。多くの皆さんが参加してくれるように、思い出深い式典になるようにと思いを込めて準備を進めています。

皆さんの参加、実行委委員一同心からお待ちしております。



令和7年度 実行委員の皆さん

実行委員長	五十嵐	悠人さん
副実行委員長	庄司	光冴さん
副実行委員長	高橋	真実さん
実行委員	赤川	温さん
実行委員	下山	大晴さん
実行委員	須貝	大成さん
実行委員	高嶋	文也さん
実行委員	中島	大詩さん
実行委員	菅	海咲さん
実行委員	門間	望美さん
実行委員	二戸	こゆきさん

このメンバーで、準備しています。



6/13第2回実行委員会(2名欠席)

Wild(野生) Education(教育)×Adventure(冒険) School(学校)

Wild edventure school ワイルドエドベンチャースクール

令和7年6月7日(土)に今年度第2回目のワイルドエドベンチャースクールが開催され、町内の小学生6名が萱場地区内の田んぼに田植え体験を行いました。その後山刀伐峠をトレッキングしました。

今回は7月26日(土)にジャガイモの収穫体験と川遊び体験を予定していますので、皆さんのご参加お待ちしております。

なお、詳細は後日学校を通して配布されるチラシをご覧ください。



令和7年度

「おくのほそ道」最上町俳句大会

募集期間：令和7年7月1日(火)～10月31日(金)

応募規定

一般の部(高校生以上)：ひとり3句まで

お題：湯(温泉)に関する句を必ず1句

※未発表の作品とし、二重投句や類似句は選句の対象外とする

小中学生の部：ひとり1句まで お題は自由

投句料：無料

投句先：封人の家・おくのほそ道赤倉温泉ゆけむり館
最上町立中央公民館

詳細は下記までお問い合わせください。

最上町教育委員会 生涯学習室(☎43-2350)

封人の家(旧有路家住宅)の観覧料金

高校生以上250円

小中生 120円 ※幼児は無料



／ ぼろぼ～すぽ～っ！

☆2025 最上町ロードレース大会☆

6月8日（日） 西公園特設コースを会場に
今年度から、未就学児の部も開催し賑やかな大会となりました。

各部門の結果をお知らせいたします。
（小学生の部2km、中学生の部3km）

小学1.2年以下女子の部	第1位 辺見 怜彩
記録 10分31	（尾花沢アスリートクラブ）
小学1.2年以下男子の部	第1位 齋藤 健寿
記録 8分47秒	（尾花沢クロカン）
小学3.4年女子の部	第1位 石川 結桜
記録 8分10秒	（ETジュニア）
小学3.4年男子の部	第1位 齋藤 晏寿
記録 7分38秒	（尾花沢クロカン）
小学5.6年女子の部	第1位 茂木 詩織
記録 8分47秒	（尾花沢クロカン）
小学5.6年男子の部	第1位 杉沼 優之介
記録 7分02秒	（ETジュニア）
中学生女子の部	第1位 菅藤 由愛
記録 12分26秒	（新庄最上アスレチック）
中学生男子の部	第1位 石山 翔環
記録 10分22秒	（舟形アスリート）
一般男子の部	第1位 梅津 賢一
記録 10分52秒	（エイブリック秋田）

参加された選手・チームの皆様お疲れさまでした！



新しい本が続々入荷中です 図書室新刊情報



《第23回このミステリーがすごい！大賞》
*「謎の香りはパン屋から」

土屋うさぎ著（宝島社）

《第172回芥川賞受賞作》

- *「ゲートはすべてを言った」鈴木結生著（朝日新聞出版）
- *「楽園の楽園」伊坂幸太郎著（中央公論新社）
- *「二十四五」乗代雄介著（講談社）
- *「雷と走る」千早茜著（河出書房新社）
- *「万両役者の扇」蟬谷めぐ実著（新潮社）
- *「マンダラチャート」垣谷美雨著（中央公論新社）
- *「桜が散っても」森沢明夫著（幻冬舎）
- *「月収」原田ひ香著（中央公論新社）
- *「もしもし、アッコちゃん？」東村アキコ著（光文社）
- *「カウンセラーはこんなセルフケアをやってきた」
伊藤絵美著（晶文社）

*「60代、不安はあるけど、今が好き」

岸本葉子著（中央公論新社）

*「義父母の介護」村井理子著（新潮新書）

*「生きのびるための事務」坂口恭平、道草晴子著
（マガジンハウス）

*「麴づくりと発酵しごと 麴、味噌、醤油、甘酒、酒種パン、
発酵調味料のレシピ」なかじ著（農山漁村文化協会）

2019年4月号～2020年3月号までの月刊誌
及び季刊誌を無料でお譲りします。

期間 令和7年7月1日(火)～7月31日(木)

『あえのがたり』（講談社）

加藤シゲアキ、今村翔吾、小川哲、佐藤究、
朝井リョウ、柚月麻子、荒木あかね、
今村昌弘、蟬谷めぐ実、麻布競馬場

小説を読み、未来につなぐ。

能登半島応援チャリティ小説企画

奥能登地域の農家では、古くから稲作を守る田の神様を祀り、感謝をささげる「あえのこと」という儀礼が行われてきました。「あえ＝おもてなし」、「こと＝祭り」をあらわします。

物語によるおもてなし
「あえのがたり」のために
集まったのは、今もつとも新作を
待たれている10人の作家です。
人気作家による、1万字の
おもてなしをぜひご堪能ください。

